

ご利用製品  [点呼+ \(デスクトップ版\)](#)

新陽商運株式会社  
降矢 康史様

 茨城県神栖市砂山2668-17

 14拠点

 220名

 460台

## 活用している点呼制度



## 活用方法

遠隔点呼室(本社)に  
管理者が常駐し、  
グループ会社(複数拠点)  
の遠隔点呼を全て執行。

## 導入ステップ

## ステップ ①

デジタコによる  
動態管理

## ステップ ②

点呼+による  
遠隔点呼

## ステップ ③

点呼+による  
業務後自動点呼

## 導入背景

- ✖ 点呼不備の撲滅を図り、法令順守を徹底したい
- ✖ 複数の拠点を保有しているため、拠点ごとに  
ばらつきのある対面点呼の質に課題を感じていた
- ✖ 人手不足の中、いかに安全な運行を徹底できるかが  
課題だった
- ✖ 点呼業務が管理者の大きな負担となり、  
他業務に手が回らない状況が散見されていた
- ✖ 点呼業務に対して各営業所ごとに最低3人分／日の  
人件費が発生していた



## 点呼員1日1人×13事業所——年間4,745人日のコスト削減を実現

### 運用上の工夫

#### ✓ 遠隔点呼室の設置による役割の明確化

- 管理者が点呼以外の業務に集中できる環境を作った  
(天候・地場の状況等の安全運行に係る重要な伝達事項、  
運行計画の作成/指導・監督 等)
- 運行管理補助者をパートで雇い、遠隔点呼を執行する  
ことで人件費を最適化

#### ✓ 管理者の精神的な負担を軽減

- 管理者が直接指導しづらい内容は点呼+の「業務連絡  
機能」を活用し伝達することで、精神的な負担を軽減

#### ✓ 点呼不備の撲滅

- 点呼予定時間を超過した際の通知機能、また点呼予定  
と点呼結果を照らし合わせた確認を行い、必要に応じ  
て該当ドライバーの指導を実施

### 導入効果

✓ 拠点間でばらつきがあった点呼方法が統一され、  
質の向上が実現した

✓ 各営業所で最低1人/日の人件費の削減を実現

✓ 夜間(17時~22時)および早朝(3時~8時)は遠隔点呼  
で対応することで、管理者の配置人数を最適化

✓ 管理者のデスクワーク時間が確保できるよう  
なり、管理業務の効率化と生産性の向上を実現

### 取材班コメント



遠隔点呼で捻出した余力を次の一手へ。  
新陽商運様は宿泊運行でも出先からタブレット等で  
遠隔点呼をできる体制の全社展開を目指しています。  
長距離便まで負担軽減と安全強化を両立する、  
まさにDXの好例と言えるでしょう。